「な」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「な」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 17

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「な」で始まる語彙辞典（メジャー）

ない - い【内意】
心の中で思っていること。また、公表してない考え。内々の意向。「―を伝える」

無(な)い袖(そで)は振れ◦ない
実際にないものはどうにもしようがない。持っていないものは出せない。「援助はしたいが―◦ない」

ない - たつ【内達】
［名］（スル）
前もって内々に通達すること。また、その通達。「部課の統廃合を―する」

ない - だく【内諾】
［名］（スル）
内々に承諾すること。「―を与える」「転勤を―する」

ない - だん【内談】
［名］（スル）
内々に話し合うこと。また、その相談。「運動方針について―する」

ない - ちん【内陳】
［名］（スル）
非公式に意見などを述べること。「私見を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ないない - づくし【無い無い尽（く）し】
あれもない、これもないといった状態。なにもないこと。ないものだらけ。「―の耐乏生活」

ない - はつ【内発】
［名］（スル）
外部からの刺激によらずに、内部から自然に生じること。「―する社会変革」

ないはつ - てき【内発的】
［形動］
外からの働きかけによらずに、内部から自然に起こるさま。「―な改革」

ないばつ - てき【内罰的】
［形動］
失敗したときや思うようにならなかったときに、攻撃を自分に向け、みずからを責める傾向があるさま。自罰的。「―な性格」→外罰的 →無罰的

ない - ふく【内福】
［名・形動］
見かけよりも内実が豊かなこと。内証の裕福なこと。また、そのさま。「―な人」

ない - ほう【内報】
［名］（スル）
内々に知らせること。また、その知らせ。「関係者に結果を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ない - まぜ【綯い交ぜ】
① 種々の色糸をより合わせて、紐(ひも)などをなうこと。
② いろいろのものをまぜ合わせて一緒にすること。「虚実を―にして語る」

ない - ま・ぜる【綯い交ぜる】
［動ザ下一］［文］なひま・ず［ザ下二］
① 種々の色糸をより合わせて紐(ひも)などにする。「五色の糸を―・ぜる」
② 質の違うものをまぜ合わせる。「和洋中を―・ぜた料理」

ない - やく【内約】
［名］(スル)
内々に約束をすること。また、その約束。「次期の昇格を―する」

ないゆう - がいかん【内憂外患】
国内にある心配事と外国から受ける心配事。「―こもごも至る」

なか - しょく【中食】
［名］(スル)
弁当などの調理済みの食材を買って持ち帰り、職場や家庭などで食べること。また、その食事。「―産業」→内食(うちしょく) →外食

鳴(な)かず飛ばず
将来の活躍に備えて行いを控え、機会を待っているさま。
また、何の活躍もしないでいるさま。「―の下積み生活」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なか - だるみ【中弛み】
［名］（スル）
① 中間がたるむこと。途中で一時的に緊張がゆるむこと。「―する映画」
② 取引用語で、上昇気配の相場が途中で一時横ばいないし軟調になること。「株式市況が―になる」

中(なか)に立・つ
両者の間に入って世話をする。仲介する。「―・って話をまとめる」

中(なか)に入(はい)・る
仲裁する。また、仲介する。「―・って話をまとめる」

なか - やすみ【中休み】
［名］（スル）
仕事などの途中で一時休むこと。また、その休み。「ここらで―しよう」

中(なか)を取・る
中間を取る。折り合いをつける。「―・って七千円で売る」

なが - あるき【長歩き】
［名］（スル）
長距離を歩くこと。「―してくたびれる」

なが - だんぎ【長談義】
長い説法。転じて、長たらしくてまとまりのない話。「下手の―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

名(な)が通・る
広く名が知られる。有名である。「全国的に―・った企業」

ながめ - い・る【眺め入る】
［動ラ五（四)］
① じっと熱心に見る。見入る。「子供の寝顔を―・る」
② 深く物思いにふけりながら見る。

ながめ - くら・す【眺め暮（ら）す】
［動サ五（四)］
眺めながら暮らす。「山を―・す」

ながめ - や・る【眺め遣る】
［動ラ五（四)］
はるか遠くを眺める。また、その方向へ目を向けて見る。「空のかなたを―・る」「物音のする方を―・る」

ながら - あるき【乍ら歩き】
［名］(スル)
何らかの動作をしながら歩くこと。特に携帯電話やスマートホンの画面を見ながら歩く、イヤホンやヘッドホンで音楽を聴きながら歩くことなどを指す。

ながら - たべ【乍ら食べ】
［名］(スル)
他のことをしながら食事や間食をすること。テレビや新聞を見ながら、ゲームや電話をしながら食べることなど。ながら食い。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ながれ - かいさん【流れ解散】
デモ行進などの終点で、到着しだいにそのまま解散すること。

流(なが)れを汲(く)・む
その系統や流派を受け継ぐ。その系譜に連なる。「源氏の―・む」「象徴派の―・む」

なき - かず【亡き数】
［連語］
死んだ人の仲間。「―に入る」

なき - くら・す【泣（き）暮（ら）す】
［動サ五（四)］
泣きながら日を過ごす。来る日も来る日も泣いてばかりいる。「亡き子を思い―・す」

なき - しず・む【泣（き）沈む】
［動マ五（四)］
深い悲しみに泣いて沈みこむ。「夫に先立たれて―・む日々」

なき - つく・す【泣（き）尽（く）す／鳴（き）尽（く）す】
［動サ五（四)］
①（泣き尽くす）泣きたいだけ存分に泣く。「涙もかれんばかりに―・す」
②（鳴き尽くす）虫などが声の限りに鳴く。

なき - なき【泣き泣き】
［副］
泣きながら。泣く泣く。「―身の上話をする」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なき - ぬら・す【泣き濡らす】
［動サ五（四）］
泣いて涙で衣服などをぬらす。「袖(そで)を―・す」

なき - の - なみだ【泣きの涙】
涙を流して泣くこと。非常に悲しい思いをすること。「―で手放す」

なき - ふ・す【泣（き）伏す】
［動サ五（四）］
悲しみのあまり、うつぶせになって泣く。「床に―・す」

なき - わた・る【鳴（き）渡る】
［動ラ五（四）］
鳥などが鳴きながら飛んでゆく。「雁が―・る」

泣(な)きを見・せる
泣くような目にあわせる。苦労をかける。「家族に―・せる」

泣(な)きを◦見る
泣くようなつらい目にあう。「怠けているとあとで―◦見ることになる」

なぎ - ふ・せる【薙ぎ伏せる】
［動サ下一］［文］なぎふ・す［サ下二］
勢いよく横に払って切り倒す。薙ぎ倒す。「敵を―・せる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

泣(な)くに泣け◦ない
泣いたくらいではどうにもならないほど、ひどくつらい。「―◦ない凡ミス」

なぐさみ - はんぶん【慰み半分】
半ば慰みの気持ちですること。「定年後―で書道を始める」

なげき - あか・す【嘆き明かす】
［動サ五（四）］
嘆いて夜を明かす。嘆きながら月日を送る。「死を悼み―・す」

なげ - くび【投（げ）首】
首を前に投げ出すようにうなだれること。取るべき手段・方法がなく思案にくれるようすをいう。「思案―」

なし - くずし【済し崩し】
物事を少しずつかたづけていくこと。徐々に物事を行うこと。「企画が―に変更される」

梨(なし)の礫(つぶて)
投げられた礫のように、便りをやったのに返事のないこと。「梨」は「無し」に掛けたもの。「いくら使いをやっても―だ」

鉈(なた)を振る・う
切るべきものは切って、思い切った整理をする。「人事刷新に―・う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

雪崩(なだれ)を打(う)・つ
雪崩のような勢いで、大勢の人が一時にどっと移動する。「敵軍が―・って敗走する」

なっとく - ずく【納得尽く】
十分納得した結果であること。「―で解約する」

なで - ぎり【撫で切り／撫で斬り】
① 刃物でなでるようにして切ること。薄くそぐように切ること。
② たくさんの人を、片端から切り捨てること。また、多くの相手を打ち負かすこと。「群がる敵を―にする」

ななえ - やえ【七重八重】
数多く重なること。また、そのもの。「―に包帯を巻く」

何(なに)するものぞ
なにができようか。たいしたことはない。「難敵―」

名(な)に背(そむ)・く
実体が名と一致しない。名声に反する。「日本アルプスの―・かない大景観」

なぶり - もの【嬲り者／嬲り物】
もてあそばれ苦しめられるもの。慰みもの。「皆の―にされる」

なま - あくび【生欠伸】
中途半端なあくび。「―をかみ殺す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なま - あたらし・い【生新しい】
［形］［文］なまあたら・し［シク］
いかにも新しい。なまなましい。「―・い傷あと」

なま - かじり【生齧り】
［名］（スル）
物事を表面的に少しばかり知っただけで、十分に理解していないこと。「―の知識」

なま - がてん【生合点】
よく理解しないでわかったつもりになること。なまがってん。「―の返事」

生木(なまき)を裂・く
相愛の夫婦・恋人などをむりやり別れさせる。「―・かれる目にあう」

なま - ぎき【生聞き】
［名・形動］
① いい加減に聞くこと。また、そのさま。「注意を―にしていて痛い目にあう」
② よく知りもしないで、知ったかぶりに振る舞うこと。また、その人やさま。半可通。

生唾(なまつば)を飲み込・む
目の前にあるものが欲しくてたまらなくなる。

なま - のみこみ【生呑み込み】
十分に理解しないで、わかった積もりになること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なみ - ひととおり【並（み）一通り】
［名・形動］
ごく普通であること。通り一遍であること。また、そのさま。「―な（の）努力では成功できない」

涙(なみだ)に暮・れる
① 涙のために目が見えないほどになる。ひどく泣き悲しむ。「別れを惜しんで―・れる」
② 泣いて月日を送る。泣き暮らす。

涙(なみだ)に沈・む
ひどく涙を流す。泣き伏す。「悲しみのあまり―・む」

涙(なみだ)に咽(むせ)・ぶ
涙でのどがつまるほどに泣く。

涙(なみだ)を呑(の)・む
くやしさ、無念さをじっとこらえる。「―・んで不利な条件を受け入れる」

涙(なみだ)を振る・う
こぼれる涙を振り払う。私情を振り切る。同情を捨てる。「―・って厳罰に処する」

習(なら)うより慣れよ
人に教えられるよりも、自分で経験を重ねたほうが身につく。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なり - まさ・る【成（り）増さる】
［動ラ五（四）］
ますますそういう状態になる。いよいよその度合いが増す。

なりもの - いり【鳴（り）物入り】
① 鳴り物を入れて、にぎやかにはやしたてること。「―の応援」
② おおげさに宣伝すること。「―で入団した選手」

鳴(な)りを静・める
物音を立てるのをやめる。物音を立てないようにする。「―・めて演奏に聞き入る」

な・れる【狎れる】
［動ラ下一］［文］な・る［ラ下二］《「慣れる」と同語源》
親しくするあまり、礼儀を失した振る舞いをする。「寵愛(ちょうあい)に―・れる」

成(な)ろう事(こと)なら
もしも実現できることならば。できることなら。「―海外で暮らしたい」

名(な)を◦得る
名声を得る。有名になる。「東洋風のテイストで―◦得たデザイナー」

なん - か【難化】
［名］(スル)
むずかしさを増すこと。「入学試験が年々―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

なん - ぎょう【難業】
むずかしい事業。困難な仕事。「―を成し遂げる」

難色(なんしょく)を示(しめ)・す
不承知らしいようすを示す。賛成できないことを表す。「予算の増額に―・す」

なん - じゅう【難渋】
［名・形動］(スル)
① 物事の処置や進行がむずかしくてすらすらいかないこと。また、そのさま。「交渉は―している」
② 困ること。もてあますこと。また、そのさま。「泥道を歩くのに―する」
③ 生活が苦しいこと。貧乏なこと。「不景気で暮らし向きが―する」

なんちゅう - の - なん【難中の難】
難しいことの中でも、特に難しいこと。「あの人を説得するのは―だ」

なん - てき【難敵】
勝つことが困難な敵。手ごわい相手。「―を下す」「―を屠(ほふ)る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.